

白鳥の死 (1937)

LA MORT DU CYGNE

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 84分
初公開日 1941/05
公開情報 劇場公開

【解説】

共同脚本・監督コンビとして知られるJ=B・レヴィ、M・エプスタンのバレエ映画。少女の無垢ゆえの冷酷さが引き起こす悲劇とその赦免をドラマティックに描く、少女マンガなどでお馴染みのテーマだ。ローズ（J・シャラ）は憧れのプリマ、ポープレへの忠誠心から、そのライバル＝カリーヌ（伝説的なプリマのM・スラヴェンスカ）が舞台出演中、奈落に落とし、バレリーナ生命を奪う。そのカリーヌが皮肉にもローズの教師となり、自分の夢を託して熱心に指導。ローズは素晴らしい成長を遂げるのだが……。けっして可愛らしいタイプではないシャラの、それでも憎めないコケットリーが作品を支えている。その他のバレエ学校の生徒たちの描写もいきいきと、現在のフランス映画お得意のリセエンヌものの要素もあり楽しめる。

【クレジット】

監督	ジャン＝ブノワ・レヴィ	Jean Benoit-Levy
原作	ポール・モーラン	Paul Morand
脚本	マリー・エプスタン	Marie Epstein
出演	ミア・スラヴェンスカ	Mia Slavenska
	イヴェット・ショーヴィレ	Yvette Chauvire
	ジャニーヌ・シャラ	